

NHK 橋本元一会長殿

2006年5月31日

＜抗議声明＞

NHKによる永田浩三氏、長井暁氏の報復的人事異動に強く抗議する

NHKは5月26日に発表した幹部職員の人事異動に紛れて、E T V番組への政治介入の実態を告発、証言した永田浩三氏、長井暁氏を番組制作現場からはずす異動を強行しました。

これについてNHKは、この人事異動を「処罰的なものではまったくないと説明しています。しかし、この件には、さる3月30日の参議院総務委員会で山本順三議員が、E T V番組の改ざんをめぐってV A W W - N E T ジャパンがNHKほかを訴えた裁判の口頭弁論でNHKの公式見解を覆す証言をした永田氏を名指しして、橋本会長らに人事上の処分を迫った経緯があります。

もともと、証人として口頭弁論に出廷し、事実を曲げた証言をすれば偽証罪に問われる立場に置かれた永田氏がNHKの公式見解と食い違っても、自己が真実と信じたことを証言するのは証人としての当然の義務であり、永田氏の証言の信憑性を判断するのは裁判官であってNHKや政治家ではありません。

そもそも、永田氏の証言、長井氏の告発は長期間にわたる葛藤の末に、番組制作に携わる放送人の良心に従って自らが知った政治介入の実態を告発したものです。

NHKがこうした証言、告発を行った永田、長井氏に対して山本順三議員が教唆したとおりの人事上の処分を強行したことは、NHKが繰り返す「自主・自律」がまやかしであること、NHKが政治家にお伺いを立てる体質にいまなお深く染まっていることを如実に示したものとと言えます。

したがって、私たちは永田浩三、長井暁両氏に対して報復的な人事異動を行った橋本会長はじめNHK理事会に強く抗議するとともに、NHKに対し内部告発者を保護する制度の確立を要求します。

以上

(注) 賛同者は別紙のとおりです。

呼びかけ人代表

ジャーナリスト／「放送の公共性の＜いま＞を考える全国連絡協議会」世話人

野中 章弘

東京大学教員／NHK受信料支払い停止運動の会・共同代表 醍醐 聰